保育者の新しいノート (10)

S. K. 生

（1）

○新憲法が出た。その理想實現のための教育基本法が出た。それに基く學校教育法が出た。こうして、制度上、わたくしたちの幼稚園はをつかり新しくなった。ここで毎日の實際がくれたけ變ったろうか。少くともわたしは、大體以前と同じことをしている。これでいいのだろうか、これでいいと思ってはいない。だんだんわかれってきた。

○それには、いろいろ理由もつけられる。

○幼二は一組の幼児數だ。新規則では四十人を超いて先生がなくなるのは出勤だ。

○大きな問題だ。ようりょの幼稚園の設備一般設備の不完全、保育材料の不充分など多くあられられることは、けっきょくこの理想を實現して行きたいものだ。

四十人にする。それなら、どうせ、新しい姿は、つまり、こんなことを言っても、各の保育施設は容易にあらわし難い。

○しかし、

四十人のものの、四十人まならいかられば、仕方のことの理想に對して充分度主義だ。四十人以上ともあられることは、仕方のことの理想を超いて先生がなくなるのは出勤だ。

○幼二は一組の幼児數だ。新規則では四十人

ん大きな問題だ。ようりょの幼稚園の設備一般設備の不完全、保育材料の不充分など

○それには、いろいろ理由もつけられる。

い。

る思ってはいない。だんだんわかれってきた。

ると思ってはいない。これでいいのだろうか、これでいい

ことだ、しまりを經ることはないものの

頭のきりかえて、自制から出發するようなもの

なるとし、それはたしさは自身の眞の

かれはなられいの方、わたしたちの住器

りだいい。こうした中でも是非新しくなら

○しかし、こんなことを言っても、各

えの保育施設は容易にあらわし難い。

四十人にする。それなら、どうせ、新しい姿

は、つまり、こんなことを言っても、各

（3）

○天高く馬肥ゆるいわれ來った秋。肥ゆる

るる新教育原理を充分理かに、しかれかれなら

ば。新教育原理も、それを教育原理だけか

ら考えるものは新しい今日に適応しない。

この根本ならば見主主義班會原理を問かに

しかれれなら。こうしたの班本の班員の

足りないことだ、わたしたちの保育に新

生命をいれ指れいの原の原因である。

○こう考えて來ると、どうも、わたしたち

の一體の教養の足りないことが痛しい。教

養といっても、いろいろの方面がある。

先を現代ういうものに就て正しい、そうし

て一應除い知識が得ないもの。保育は、

今日の子ども、今日の班會で、今日の生活

原理で教育しているものと、既る人の言葉

にあった。その通りのことだが、その今

日がわたしたちに、充分よくくらっていない

ては、われがなら心細い至極だ。

（3）

○保育を保育としてみえるだけでは眞に新

し、今日今日、難い。

るる新教育原理を充分理かにしかれなら

ば。新教育原理も、それを教育原理だけか

ら考えるものは新しい今日に適応しない。

この根本ならば見主主義班會原理を問かに

しかれれなら。こうしたの班本の班員の

足りないことだ、わたしたちの保育に新

生命をいれ指れいの原の原因である。

○こう考えて來ると、どうも、わたしたち

の一體の教養の足りないことが痛しい。教

養といっても、いろいろの方面がある。

先を現代ういうものに就て正しい、そうし

て一應除い知識が得ないもの。保育は、

今日の子ども、今日の班會で、今日の生活

原理で教育しているものと、既る人の言葉

にあった。その通りのことだが、その今

日がわたしたちに、充分よくくらっていない

ては、われがなら心細い至極だ。

（3）

○天高く馬肥ゆるいわれ來った秋。肥ゆる

上しゅく今日、天気は高い。

高燥高まれいったこと、雖しいが低く

は高い。湿燥が低くなり、臨味が低くなり

ういう方はどうか知らぬが、鼓舞園でも天